

要望書

千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設に向けて

平素より、市町村の道路・河川事業等に格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり長野市と須坂市、小布施町、高山村は、長野地域連携中枢都市圏を構成し、持続可能な圏域の形成を目指して、課題の解決に向けた取り組みを進めております。

長野市北部地域には長野市民病院や北部工業団地、須坂市、小布施町、高山村には、県立信州医療センターや県営日滝原産業団地、小布施スマートインターチェンジなど、千曲川を隔てて広域的な拠点施設が存在しており、約8万台を超える交通量が、千曲川を渡り日々往来しております。

しかし、千曲川兩岸を結ぶ村山橋から小布施橋までの橋梁間隔は約5.5kmあり、近隣の橋梁間隔が平均で約2.4kmであるのに対し、2倍以上の橋梁間隔となっていることから、当該地域における市町村間・拠点間ネットワークは大変脆弱な状況にあります。

平成31年3月に策定された「長野県都市計画ビジョン」及び「長野都市圏の新たな総合都市交通計画」では、これからの都市づくりの方針として、今ある資源を活用しつつ、生活・産業・観光を支える交通体系を構築するための、圏域内における広域・根幹的な交通基盤づくりの推進や、災害等緊急時の物資や人の輸送、救急活動、高速道路へのアクセス向上など、災害に対する備えとしての、幹線道路網の多重性の強化などが示されております。

また、令和元年東日本台風では、千曲川の氾濫により堤防の決壊、越水など未曾有の被害が発生し、多くの住民が避難を余儀なくされました。長野市側の決壊箇所は千曲大橋の予定ルートに近く、尊い人命を守るためには千曲大橋の建設が広域避難にとって大変有効であります。

これらのことから、広域的な拠点施設や地域資源をつなぎ、都市間の連携強化と円滑な交通の流れを図るため、新たな橋梁、千曲大橋を含めた長野市長沼・須坂市豊洲間の県道建設が是非必要であります。また、この長野市長沼・須坂市豊洲間の県道建設は、千曲川兩岸の住民の悲願でもあります。

これらの状況をふまえ、実情を十分ご賢察いただき、下記事項に対しまして特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設の早期事業化

令和3年7月28日

国会議員 様
長野県議会議員 様
長野県知事 様
長野建設事務所長 様
須坂建設事務所長 様

千曲大橋（長野市長沼・須坂市豊洲間）県道建設促進期成同盟会

会 長	須坂市長	三木 正夫
副会長	長野市長	加藤 久雄
副会長	小布施町長	桜井 昌希
副会長	高山村長	内山 信行